

2012年2月期 第3四半期決算説明会



株式会社クリーク・アンド・リバー社

JASDAQ 4763

2012年1月12日(木)



《2012年2月期 第3四半期決算概要》 決算ハイライト

前年同期比 売上高113%、経常利益316%
第3四半期連結累計期間において
全ての項目にて過去最高の業績を達成

各セグメントにおいて増収 引き続き好調に業績が推移

当第3四半期連結累計期間において、
利益項目における通期連結業績予想を上回ることと
なったため、通期連結業績予想を上方修正



2012年2月期 第3四半期業績【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 第3四半期	2012年2月期 第3四半期	増減率	進捗率 (9/28発表 通期計画)	
売上高	10,434	11,785	113%	78%	全セグメントにて 増収を達成
売上総利益	3,419	3,921	114%	-	売上総利益率 32.7% 33.2%へ 不採算案件見直しが寄与
販売管理費	3,219	3,310	102%	-	売上高販管費比率 30.8% 28.0%
営業利益	200	610	305%	111%	営業利益率 1.9% 5.1%へ
経常利益	209	661	316%	120%	営業利益と共に 経常利益も改善
当期純利益	48	272	567%	124%	



セグメント別業績[クリエイティブ分野(日本・韓国)]

[単位:百万円]	2011年2月期 第3四半期	2012年2月期 第3四半期	増減率	進捗率 (9/28発表 通期計画)
売上高	8,229	8,985	109%	77%
営業利益	136	382	281%	100%

- 国内は、エンタテインメント分野・ビジネス分野ともに増収増益
ソーシャルアプリ/電子書籍等、新しい市場ニーズへの対応も進展
- 韓国では、「韓国メディア法」改正(2011年7月)によるTV局増加
(6局増加)の機会を捉え、TV分野が伸張
- 中国市場に対する積極的な投資を継続(版權、漢王、中国TV通販)



セグメント別業績 [医療分野]

[単位:百万円]	2011年2月期 第3四半期	2012年2月期 第3四半期	増減率	進捗率 (9/28発表 通期計画)
売上高	1,560	1,750	112%	87%
営業利益	173	299	172%	135%

- 医師へのニーズは引き続き高水準。医師の紹介事業が順調に伸張
- 医師の紹介事業特有の季節要因により、例年同様第4四半期は赤字を見込む（計画通りに推移）



セグメント別業績[IT、法曹、会計分野]

[単位:百万円]	2011年2月期 第3四半期	2012年2月期 第3四半期	増減率	進捗率 (9/28発表 通期計画)
売上高	830	1,126	135%	75%
営業利益	31	17	-	-

- IT、法曹、会計の各分野にて、前年対比売上高が伸張
- IT分野における震災の影響による売上計上の遅れ等から、第3四半期は赤字となるも、第4四半期には黒字化見込



セグメント別業績 【連結・売上高】

[単位:百万円]	2011年2月期 第3四半期	2012年2月期 第3四半期	増減率	進捗率 (9/28発表 通期計画)
クリエイティブ分野 (日本・韓国)	8,229	8,985	109%	77%
医療分野	1,560	1,750	112%	87%
IT・法曹・会計他	830	1,126	135%	75%
計	10,434	11,785	113%	78%

* 消去の記載は省略しております



セグメント別業績 【連結・営業利益】

[単位:百万円]	2011年2月期 第3四半期	2012年2月期 第3四半期	増減率	進捗率 (9/28発表 通期計画)
クリエイティブ分野 (日本・韓国)	136	382	281%	100%
医療分野	173	299	172%	135%
IT・法曹・会計他	31	17	-	-
計	200	610	305%	111%

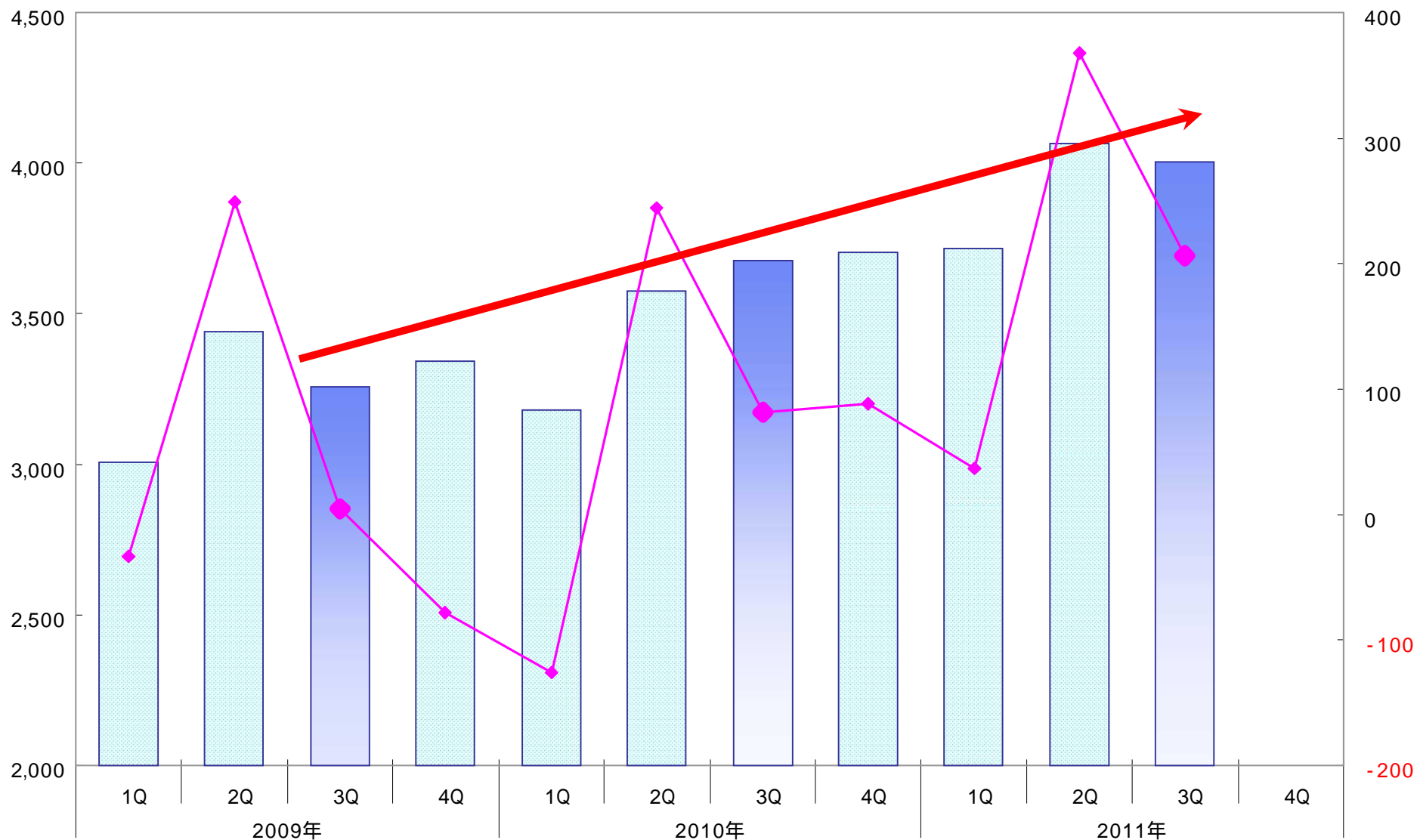
* 消去の記載は省略しております



C & Rグループ 四半期業績推移

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)





当社グループ全体で、事業が引続き好調に推移。

第3四半期累計ベースで、利益項目は通期計画を超過したため、上方修正を実施。

利益項目については、概ね第3四半期累計実績に再設定。(医療分野における季節要因等を考慮)

今後、見通しに変更があった場合には、速やかに開示いたします。



2012年2月期計画【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 実績	2012年2月期 計画(9/28発表)	2012年2月期 第3四半期	進捗率 (9/28発表 通期計画)
売上高	14,137	15,000	11,785	78%
営業利益	286	550	610	111%
経常利益	300	550	661	120%
当期純利益	89	220	272	124%



2012年2月期計画【連結】

CREEK & RIVER Co., Ltd.

[単位:百万円]	2011年2月期 実績	2012年2月期 計画(1/12発表)	2012年2月期 第3四半期	進捗率 (1/12発表 通期計画)
売上高	14,137	15,500	11,785	76%
営業利益	286	620	610	98%
経常利益	300	670	661	98%
当期純利益	89	250	272	108%



2012年2月期計画【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 実績	2012年2月期 計画(1/12発表)	増減率
売上高	14,137	15,500	109%
営業利益	286	620	216%
経常利益	300	670	223%
当期純利益	89	250	280%



C & Rグループ 今後の成長に向けた取組

プロフェッショナルに対するニーズは底堅く推移。
引続き、プロフェッショナル分野に特化したエージェンシー事業
(派遣・請負・紹介事業)のベースを強化。

更に、新規事業を積極的に推進。以下をキーワードに取組強化。

電子書籍

中国

テレビ通販

* 本格的な収益への寄与は来期以降の見込



C & Rグループ 今後の成長に向けた取組

出版エージェンシー事業

これまでの成約冊数は300冊 対応するオーダーは2,000件
著名タイトルが成約する等、順調に事業を推進

< 2011年12月 当社にて成約したタイトル >



東野圭吾著 「真夏の方程式」

(2011年6月 文藝春秋)



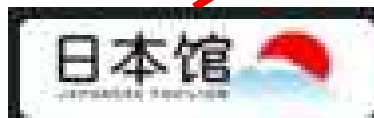
C & Rグループ 今後の成長に向けた取組

2011年12月 北京視易購伝媒科技有限公司との業務提携による 中国におけるテレビ通販事業 上海エリアにてテストマーケティング開始

TVモール「視易购」TOPページ



* 『日本館』コーナー



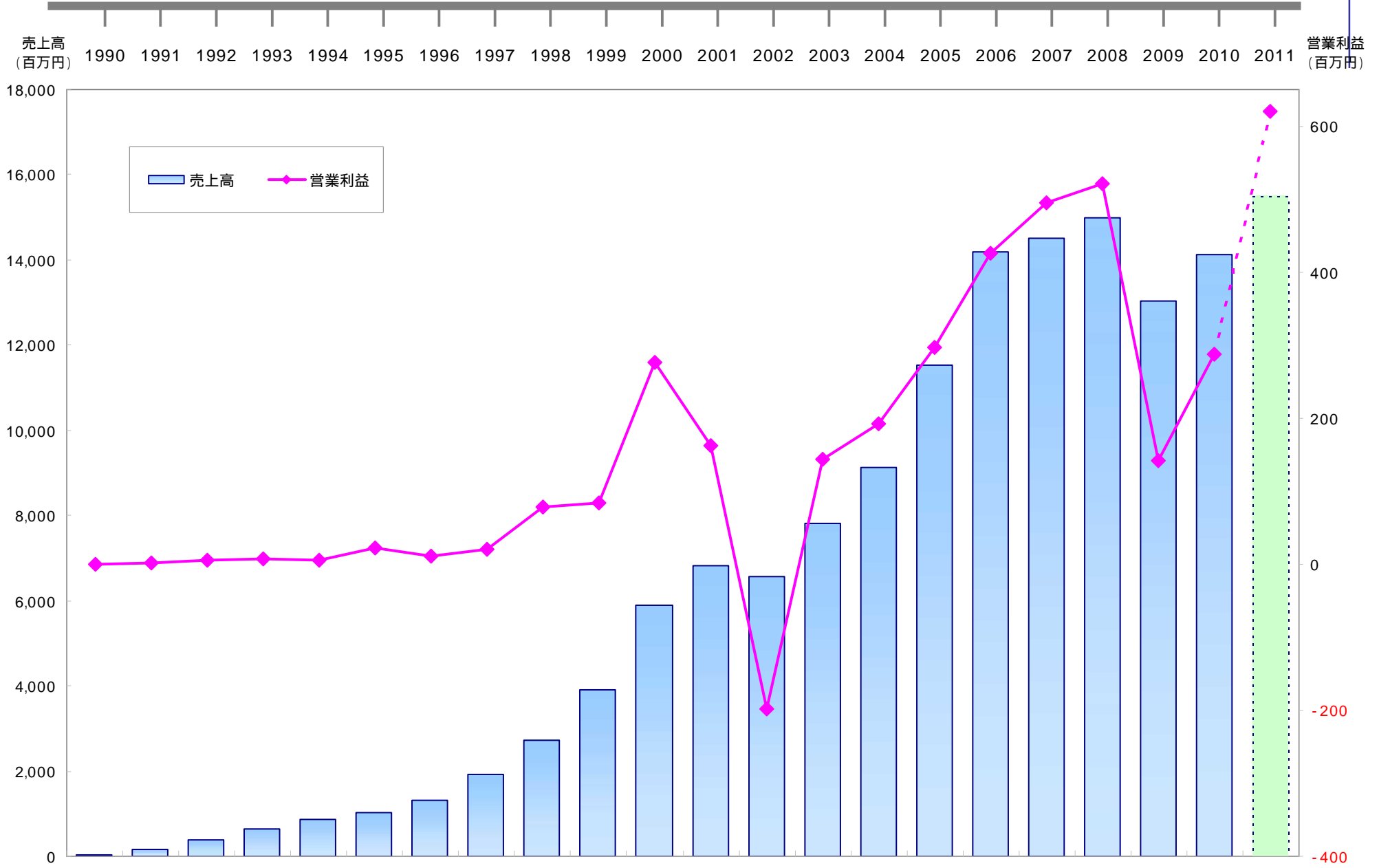
現在、出店企業は
化粧品、飲料、アパレル、生活雑貨等 約20社
以下収益項目にて今後の収益化を目指す

- 初期出店料
- システム利用料(月額)
- 売上コミッション
- 広告媒体料
- 広告制作料

C & Rグループ 業績推移



CREEK & RIVER Co.,Ltd.





将来の記述に関するご注意

この資料には、当社または当社グループ(以下、C & Rグループといたします。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述が記載されています。

これらの将来に関する記述は、C & Rグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、C & Rグループの将来の実績、経營業績、財務内容が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なる可能性があります。

C & Rグループの主たる事業活動領域であるクリエイティブ・医療・IT・法曹・会計業界は、常に急激な変化に晒されています。C & Rグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述について、これらの内容を更新し公表する責任を負いません。